

高糖分高消化性 WCS 用イネ中生品種「たちあやか」の導入は収穫

時期の作業分散に有効である

利用対象：WCS 用イネを栽培する経営体

背景

本県では WCS 用イネ品種「たちすずか」の導入が近年急速に進んでいるものの、10 月以降に収穫作業が集中し、作業競合が問題となっています。「たちすずか」より黄熟期の早い「たちあやか」の導入により WCS 用イネ全体の収量を確保しつつ、収穫時期の作業分散の確立を目指しました。

概要

① 5 月下旬移植が作業分散に好適

5 月下旬移植では「たちあやか」は「たちすずか」に比べ 20 日前後早く黄熟期(収穫適期)を迎え、収穫時期の作業分散に有効です。6 月下旬移植に比べ、黄熟期の日数差が大きく、より多くの収量を確保することができます(表 1)。

② 収穫作業の前進化と収穫面積の拡大が可能

「たちあやか」の導入により WCS 用イネの収穫作業が 9 月下旬～10 月中旬までとなります。収穫時期を遅らせることなく WCS 用イネの栽培面積拡大が可能です。収穫期の作業分散により、後作の小麦の播種作業と競合の生じない作業体系が可能となります(図 1)。

表 1. 年次別移植日、出穂期、黄熟期収量

品種	年次	播種日 (月/日)	移植日 (月/日)	出穂期 (月/日)	黄熟期 (月/日)	乾物収量 (t/10a)
たちすずか	① 2015	5/12	5/28	9/3	10/2	1.6
	② 2016	5/9	5/26	9/1	9/30	1.7
	③ 2017	5/6	5/22	9/2	10/4	1.7
	④ 2018	5/7	5/24	9/4	10/3	1.9
	⑤ 2015	6/12	6/25	9/16	10/19	1.5
	⑥ 2016	6/3	6/20	9/8	10/11	1.6
	⑦ 2018	5/15	6/1	9/6	10/6	1.4
	⑧ 2019	5/14	6/3	9/4	9/30	1.2
	⑨ 2018	-	6/2	9/6	10/2	1.5
	⑩ 2019	-	6/18	9/9	10/7	1.3
たちあやか	① 2015	5/12	5/28	8/17	9/14	1.5
	② 2016	5/9	5/26	8/16	9/9	1.5
	③ 2017	5/6	5/22	8/15	9/14	1.5
	④ 2018	5/7	5/24	8/13	9/6	1.6
	⑤ 2015	6/12	6/25	9/2	10/1	1.3
	⑥ 2016	6/3	6/20	8/30	9/26	1.4
	⑦ 2018	5/15	6/1	8/15	9/9	1.5
	⑧ 2019	5/14	6/3	8/19	9/13	1.2
	⑨ 2018	-	6/2	8/22	9/19	1.4
	⑩ 2019	-	6/18	9/3	9/30	1.1

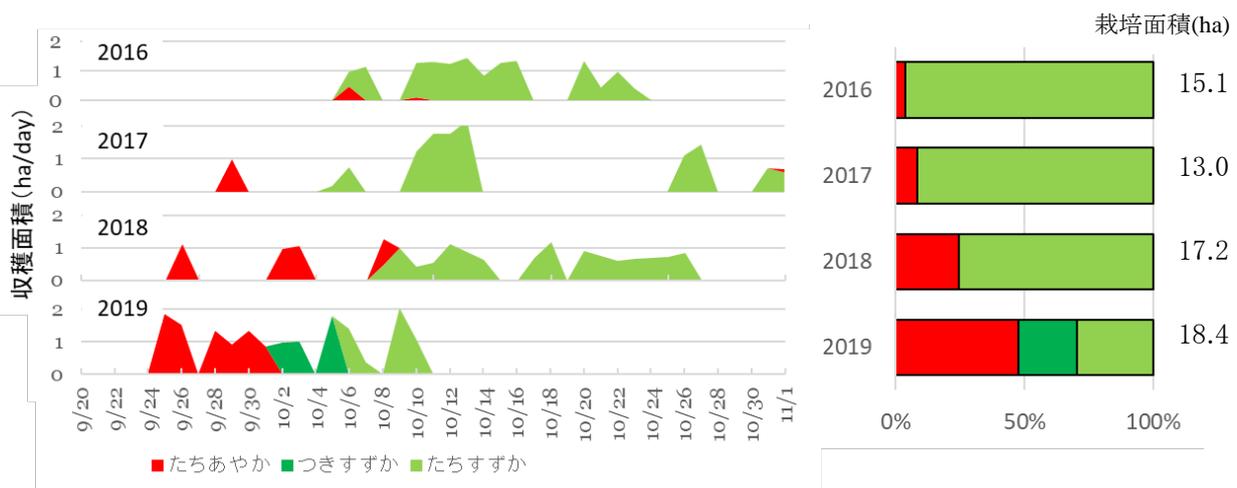


図 1. 年次別品種構成および栽培面積

お問い合わせ先	生産技術研究室 農産研究課 坂口尚子 電話 0598-42-6359 中央農業改良普及センター 山本泰也 電話 0598-42-6705
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000888075.pdf http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000887762.pdf